



大会宣言

JR東労組八王子地本は東京たま未来メッセにて「第29回定期大会」を開催し、スローガンをはじめとする向こう1年の運動方針を満場一致で確認した。

2025 JR総連春闘は「統一要求・統一闘争」のもと、満額回答を勝ち取るためのたたかいをつくり出してきた。また地本再建以降初めてつくった春闘総決起集会は、多くの組合員が結集する場となった。そしてたたかいの中で会社の狙いや、社友会や他労組との違いを明らかにしてきた。私たちの要求から大きく乖離した回答や、早期回答による春闘破壊に対し、怒りの声が組合員や未加入者から多く出された。この怒りを基に今後のたたかいに繋げていこう！

5月7日に「JR東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方について」が示された。これは組織再編を通じた「究極の融合と連携」による生産性の向上と、評価制の人事・賃金制度は、社員間の過度な競争を煽る施策であると言わざるを得ない。私たちはチームワークにより安全な鉄道運行を担う立場から、職場に過度な競争を持ち込み安全が脅かされる施策に対しては反対のスタンスを示し、安全・健康・生活を守るたたかいを全組合員で推し進めよう！

今年は「JR福知山線脱線事故」「JR羽越本線脱線事故」から20年となる。各地で安全を脅かす事故が発生し、「懲罰的な日勤教育」や「隠蔽」とも言える事象も明らかになっている。多くの職場で私たちは「責任追及から原因究明へ」の安全哲学を再確立させるためのたたかいをつくり出してきた。これからも全組合員で安全第一の職場をつくり出そう！

過半数代表者選挙において多くの職場で組合員が立候補し、組合員以上の票を得る大きな成果が出された。この間職場で地道に運動をつくり、未加入者に東労組の存在感を示してきた。また社友会・他労組との違いを明らかにし、仲間の悩みや不安に寄り添ってきた結果、東労組に対する信頼は大きくなっている。この実践を通じ組織強化・拡大に繋げていこう！

今でも全国の職場では、不当労働行為・社友会を通じた社員差別・ハラスメント行為が横行している。そして会社は排除の論理を振りかざし、社員を加害者に仕立て上げ不当処分・不当転勤を強行してきた。この間八王子地本として、不当処分・不当転勤を撤回させ会社姿勢を正すための団体交渉を行ってきたが、会社は不誠実な団体交渉に終始し打ち切らざるを得ない状況となった。そして組合員は後輩に同じ想いをさせたくない決意で『被害者が加害者にされた！JR東日本武蔵小金井駅暴行事件』として個人訴訟に立ち上がった。JR総連加盟単組をはじめとした全国の仲間からの物心両面の支援に感謝を申し上げるとともに、八王子地本はこの組合員の想いに立ち、裁判勝利に向け全組合員でたたかい抜こう！

ロシアのウクライナ侵攻やイスラエルのガザ地区侵攻は停戦の兆しも見えない。日本でも台湾海峡を中心に軍事的緊張が意図的に高められ、戦争体制の強化が進められている。今こそ第27回参議院議員通常選挙において平和を希求する仲間を国政の場に送り、憲法9条を守り広める仲間と連帯を強化し、平和で安心して暮らせる社会をつくる行動を実践していこう！

八王子地本は再建を果たし5年を迎える。今後も労働組合の役割を自覚し、組合員の声からスタートする東労組運動を通じ「安全・健康・ゆとり」を持って安心して働けるための職場をつくり出し、この間培ってきた「抵抗とヒューマンイズム」の精神で、JR東労組の強化を通じた1万人組織の実現を目指すため、仲間と共に東労組運動を推し進めよう！

以上、宣言する。

2025年7月12日
東日本旅客鉄道労働組合
八王子地方本部
第29回定期大会